

私の好きな本や映画

春寒の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。
2月から始まる契約更新業務は、3月の声を聞くと大変殺気
だってきます。社員の皆さんのおかげで今期の業績は順調
でありましたが、来期は全く不透明です。



代表取締役社長 吉田治伸

この3月の契約更新に失敗すると会社としても大変な事
になります。ましてや今年は万博のお仕事をはじめいくつかの
新規物件がひかえていますのでもう社内は大変な状態です。

そんななか「忙中閑あり」で少し、映画や本の話をしたと思います。

私は常々人間の「成長」において、「経験」という「実体験」以上に「想像力(創造
力)」という「疑似体験」が重要だと思っています。

そういった疑似体験で一番簡単な事が、本を読んだり、映画を見たり、(人の話
を聞いたり)する事です。最近、「情報」や「ノウハウ」を中心とした「仕入れ」的な本
の読み方をしているので、少し読書が苦痛になってきましたが、30代の頃までに
わくわくしながら、読んだ吉川英治や司馬遼太郎の歴史小説は、私の考え方の拠
り所になっています。また、忘れていた感情を思い出させてくれるハートウォーミン
グな映画や元気づけてくれる爽快な映画との巡り合いは、「生きていく」という事に
勇気や自信を与えてくれます。

最近(過去)読んだり、見たりして感動したものを書きます。時間があれば感想
でも言いあいましょ。

本……「グッドラック」(ポプラ社) (スタッフ全員に読んでもらいました。)

映画…「ショーシャンクの空に」(爽やかな映画です)

「ニューシネマパラダイス」(とにかく泣けました。)

「ローマの休日」「グッバイガール」「となりのトトロ」

「幸せの黄色いハンカチ」

グツときた本や映画があれば教えて下さい。

まだまだ寒さは続きますが、お体に気をつけてお仕事お願いします。